

各位

平成17年3月期 決算の概要について

株式会社アプラス

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。
 この度、平成17年3月期決算を発表いたしましたのでお知らせいたします。
 当期におきましては、ショッピングクレジット事業、カード事業、消費者金融事業等のコア事業全般について概ね堅調に推移いたしました。
 今後は、新生銀行グループのノンバンクビジネス部門の中核として、ショッピングクレジット事業を基盤にコア事業の更なる強化に取り組んでまいります。
 今後とも何卒倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

平成17年3月期の業績（単体）

	営業収益	経常利益	当期純利益
平成17年3月期	993億円	57億円	2,604億円
平成16年3月期	1,068億円	32億円	7億円

< 概要 >

営業収益は「コア事業」全般において堅調に推移いたしましたが、当期におきまして、新生銀行との全面提携に伴う「ノンコア事業の売却・分割」等により前期比75億円減少いたしました。
 経常利益は営業費用における貸倒引当金繰入額が大幅に減少し、財務体質の改善により金融費用が減少したことなどから前期比24億円の増加となりました。
 当期純利益は新生銀行との全面提携に係る措置に伴い、特別利益940億円、特別損失3,251億円を計上したことにより2,604億円となりました。
 なお、平成17年2月に優先株2,410億円発行による第三者割当増資を実施し、平成17年3月末の自己資本は637億円となり、財務基盤は強化されました。

< 配当について >

当期の配当金につきましては、大幅な当期純損失の計上となりましたので、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。平成17年度を初年度とする第五次中期経営計画を確実に遂行することにより、早期復配を目指してまいります。

平成18年3月期業績予想（単体）

	営業収益	経常利益	当期純利益
通 期	1,010億円	150億円	185億円

< 概要 >

ショッピングクレジット事業を基盤としながら、高収益事業のウェイトアップによる収益性向上を図ることで、前期比増収を見込んでおります。
 市場信用力を背景とした調達コストの低減により金融費用は大幅に減少し、経常利益は前期比大幅増加を見込んでおります。

新生銀行との全面提携により、弊社は業界トップクラスの「資産の健全性」と安定した「自己資本比率」を具備することとなりました。

今後につきましては、「コア事業」の事業競争力の向上に努め、総合的な「リテール・ファイナンス・サービス」を提供する「ノンバンク」としてのプレゼンスを早期に確立し、収益性のみならず「商品開発力」や「顧客サービス」を含めた「リテールノンバンク」の「トップ」を目指してまいります。

以上